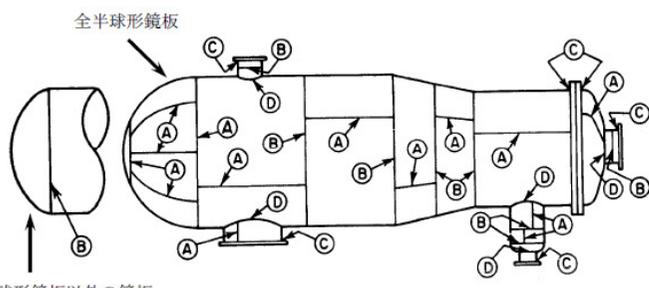
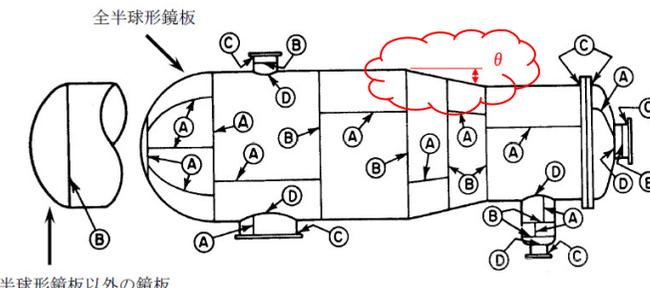


ページ	規格番号	誤	正	備考
第 3 部-9	WQ-323 試験材の種類 がチタンの ものの場合	<p>WQ-323 試験材の種類がチタンのものの場合</p> <p>(1) 確認試験要領</p> <p>1)</p> <p>2) 試験に使用する溶加材又は心線は、JIS Z 3331 (2011) (チタン及びチタン合金溶加棒並びにソリッドワイヤ) に規定する <u>YTB 340 又は YTW 340</u> に適合するものとする。</p> <p>3)</p>	<p>WQ-323 試験材の種類がチタンのものの場合</p> <p>(1) 確認試験要領</p> <p>1)</p> <p>2) 試験に使用する溶加材又は心線は、JIS Z 3331 (2011) (チタン及びチタン合金溶加棒並びにソリッドワイヤ) に規定する <u>S Ti 0120J</u> に適合するものとする。</p> <p>3)</p>	2014 年 追補以降
第 4 部 -1-4	N-0020 定義 (解説) 解説図 N-0020-2	 <p>全半球形鏡板</p> <p>全半球形鏡板以外の鏡板</p> <p>(注 1) 図中の(A), (B), (C)及び(D)は、各々継手区分 A, 継手区分 B, 継手区分 C 及び継手区分 D を示す。</p> <p>(注 2) θ : 円すい胴又は円すい形鏡板の半頂角 (円すい頂角の $1/2$ の値)。</p> <p>解説図 N-0020-2 継手区分</p>	 <p>全半球形鏡板</p> <p>全半球形鏡板以外の鏡板</p> <p>(注 1) 図中の(A), (B), (C)及び(D)は、各々継手区分 A, 継手区分 B, 継手区分 C 及び継手区分 D を示す。</p> <p>(注 2) θ : 円すい胴又は円すい形鏡板の半頂角 (円すい頂角の $1/2$ の値)。</p> <p>解説図 N-0020-2 継手区分</p>	2013 年 追補以降 θ の図示 追加